

## 家屋の被害認定調査について

### 1 1次調査

#### (1) 被害認定調査

- ・ 外観目視および計測による調査
- ・ 判定項目は屋根、外壁、基礎（＋傾斜の有無、地盤被害の有無）
- ・ 所要時間 15～30分／件（1班あたり1日12～15件の調査実施）

#### (2) リ災証明書交付の手順

- ① 対象者（居住者・所有者）、対象家屋（調査家屋）の確認
- ② 1次調査の調査方法、判定方法の説明
- ③ 調査時に確認した被災箇所を説明のうえ、判定結果を提示
- ④ 相手方の被災個所に関する話、写真等の確認
- ⑤ （必要に応じて）判定の見直し
- ⑥ 判定に納得された場合 → リ災証明書を交付
- ⑦ 判定に納得されない場合  
→ ア) 調査後に新たな被害が判明した場合  
調査後に被害が拡大した場合：1次調査の再確認を受け付け  
イ) 詳細調査を希望される場合：2次調査を受け付け

#### 【2次調査を希望される方には以下を説明】

- すべての部屋を見せていただく必要があること（見せられない部屋がある場合は、その場所の被害の認定ができないため、無被害扱い）
- 判定が上がることも下がることもありえるが、1次調査の結果ではなく、2次調査の結果が採用されること
- 申請から調査までには日数を要すること（1か月以上かかる見込み）  
調査には2時間程度かかること

### 2 2次調査

#### (1) 被害認定調査

- ・ 外観及び内部の詳細調査（要立ち合い）
- ・ 判定項目は屋根、外壁、基礎、天井、内壁、柱、建具、床、設備（＋傾斜の有無、地盤被害の有無）
- ・ 所要時間 60～120分／件（1班あたり1日2件の調査実施）

#### (2) リ災証明書交付の手順

- ① 2次調査で確認した被害箇所の説明（2次調査員が対応）
- ② 判定結果を提示
- ③ 判定に納得された場合 → リ災証明書を交付
- ④ 判定に納得されない場合  
→ ア) 調査時に確認できなかった被害がある場合  
：2次調査の再確認を受け付け  
イ) 再度2次調査を希望する場合：2次の再調査を受け付け